

競技注意事項

1 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。

ただし競技によっては「友の会ルール」を採用する。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- プログラム記載のものをユニホームの胸、背に確実につける。
- トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード（ビブス）」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者（アンカー）がつける。フィニッシュ後、直ちに回収係に返却する。

3 招集について

- 招集所は正面スタンド下、100mスタート側器具庫付近に設ける。
- 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。ただし、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係（招集所）に申し出ること。
- 招集時間は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	60分前	20分前
フィールド競技	60分前	30分前

- リレーのオーダー用紙は、8時30分までに招集所に提出する。
- リレー種目は、オーダー表を提出することで招集完了とする。ただし、アンカーは招集場所で腰ナンバーを受け取り、右腰につける。また、リレーに参加する各チーム引率者は、選手を現地へ誘導する。
- 混合リレーのオーダーは、1・2走者は女子、3・4走者は男子とする。

4 レーン・試技順について

- トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- 欠場者のレーンはあける。

5 競技について(友の会ルール)

- スターターのコールは、日本語で行い、スタートの不正行為については友の会ルールを採用する。（各自2回目で失格となる。）スタートの方法は、クラウチングスタートもしくはスタンディングスタートとする。なお、スパイクシューズの使用はできるが、裸足での競技は禁止する。
- トラック競技とフィールド競技を兼ねている場合は、トラック競技を優先する。この場合は、必ずフィールドの審判員に申し出て許可を得ること。
- 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
男・女	9台	0.70m	13m	7m	11m

- フィールド競技の競技開始前の練習は、競技開始30分前より審判員の指示によって行う。
- ジャベリックボール投は、規定の投げ方(にぎり持ち)で、助走距離は15m以内、試技は1人3回とし、すべて計測する。ジャベリックボール投は競技開始30分前より、審判の指示で練習を行う。それ以外には、勝手に練習を行わない。また、ジャベリックボールは本主催者が準備したものを使用する。ヴォータックスボールの使用については、団体受付で許可を得たもののみ使用できる。
- 走幅跳の試技は1人3回とし、すべて計測する。
- 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以後 5cm
女子走高跳	1m00	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後 5cm

※1位決定のバーの上げ下げは、2cmとする。

- (8) 本大会において、県小学生選手権大会（10月27日）の参加記録を突破した者は、大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協のホームページを参照し、参加申し込みをすること。

6 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル・ジャベボール)は、主催者が用意したものを使用する。
(2) リレー・跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。フィールド種目のマークは2個まで使用できる。

7 競技用靴（スパイクシューズ）について

スパイクの数は11本以内で、長さ9mm、走高跳は12mmを超えてはならない。また、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。

8 表彰について

- (1) 4年生以上の各種目1～3位に賞状、1位に選手権賞を授与する。
(2) 賞状ができしだい随時行う。
(3) 表彰を受ける競技者は、フィニッシュライン側の階段(南側階段)を使用し、表彰場所(本部前)に移動する。本部前通路や本部室を通らない。

9 陸上競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、本部前通路や競技場内、1階エリアに立ち入らない。
(2) スタンド最前列で立って、応援・観戦をしない。
(3) 応援幕、のぼり旗は正面スタンドを除くスタンド最上部に限り認める。
(4) 清掃・ゴミ処理は、各チーム・クラブ、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

10 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン(曲走路)を走り、減速し止まる。
(2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン(チーム)の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
(3) プログラムの氏名・所属等の間違いがあれば、チームの責任者が本部に申し出る。(本部室で午前9時00分まで受け付ける)
(4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
(5) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
(6) カメラ、ビデオ等の撮影は、出場のクラブチームと選手の家族のみとし、下にある「撮影についてのお願い」にしたがうこと。

①保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

②観客席からの撮影制限について

◆観客席での撮影禁止エリアは下記の席です。

- ・各種目のスタート後方、および右手斜め前方
- ・走高跳・走幅跳の助走後方と着地前方
- ・走高跳マットに向かって正面(クリアランス動作中)

◆選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っている間や体を動かしたりしているなどの準備の行動中の撮影は禁止します。

◆他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡を取らせていただきます。